

21世紀の日本のかたち（125）

2021年夏

東京五輪、デルタ株・コロナ禍の広がり、
戦後76年、この夏の豪雨・熱波



戸沼幸市

<（一財）日本開発構想研究所 代表理事>

1. 東京五輪

コロナ禍が世界的にも日本においても強烈な勢いで増す中、東京2020オリンピックが猛暑の夏、7月24日から8月8日の16日間にわたって開催されました。

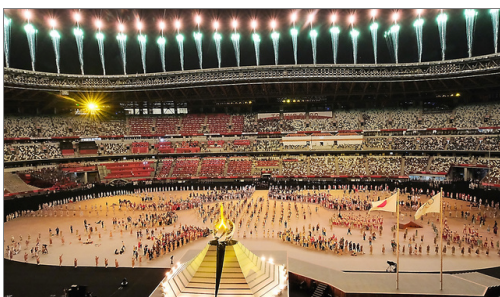
7月23日夜、新設の国立競技場（東京都新宿区）での開会式には、五十音順に205の国、地域（ロシアは個人資格での参加）、難民選手団、そして日本は最後206番目の入場でした。この日の選手団は11,000人。無観客の開会式となりました。

写真1 東京2020五輪開会式（1）



資料：東京新聞 2021.7.24

写真2 東京2020五輪開会式（2）



資料：朝日新聞 2021.7.24

開会式ではまず、東京五輪大会名誉総裁の天皇陛下の開会宣言。「私はここに第32回近代オリンピックを記念する東京大会の開会を宣言します」。つづいてテニスプレーヤー大坂なおみ選手による聖火台への点火によって、東京2020オリンピックの幕が上がりました。前回の東京五輪、1964年から57年ぶりです。

東京五輪のキャッチコピーは当初の「災害からの復興の証」から「多様性と調和」へと切り替わったものになりました。

新型コロナウイルスの世界的大波の中での開催であることを思い知らされます。東京五輪は全43会場施設のうち、国立競技場を含む37会場は無観客での開催となりました。緊急事態宣言下では人びとは外出自粛を余儀なくされ、私ももっぱら日本選手の活躍を追いかけながらのテレビ観戦となりました。

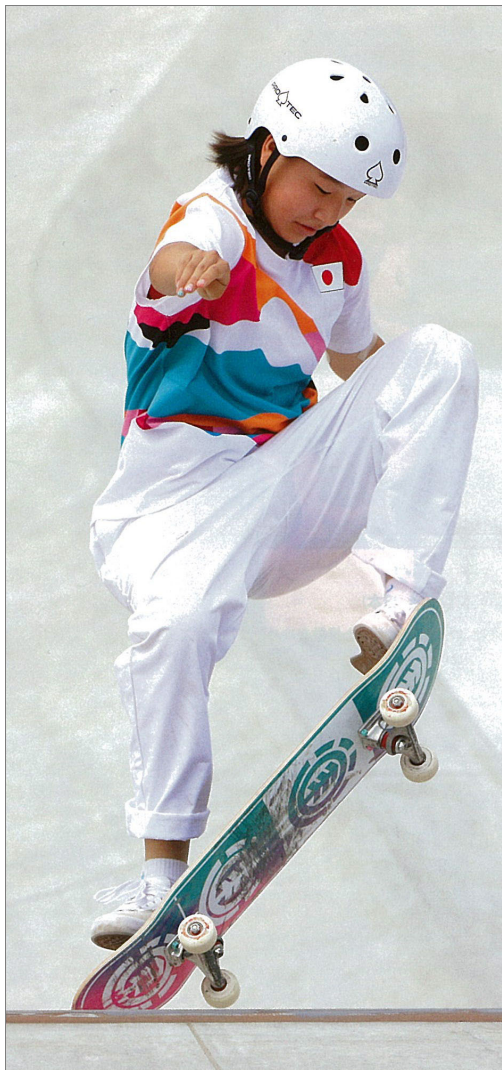
無観客ながら展開されたアスリート達の活躍ぶり、世界の一流選手と戦う日本選手の頑張りについて、連日、テレビ、ネット、新聞などで熱く報じられました。印象深い日本選手の活躍について、この夏の記憶として鮮やかに残ります。

開会式の視聴者・国内推計7,326万人（ビデオリサーチ調べ）でした。

・スケートボード

今回の東京五輪にスケートボードが初登場し、10代の選手が楽しげに競っている姿は、私の住むまちの広場や路上で若者や子供たちがスケボーに興じている風景そのままです。今年から子供たちの遊びがオリンピックの正式種目になるとは。

写真3 女子ストリート金 西矢 椋



資料：『東京2020オリンピック 総集編 週刊朝日増刊』 朝日新聞社 2021.8.25

写真4 女子パーク銀 開心那



資料：『東京2020オリンピック 総集編 週刊朝日増刊』 朝日新聞社 2021.8.25

・卓球

卓球混合ダブルス決勝で、水谷隼・伊藤美誠組が卓球王国の中国相手に前半0:2から逆転して勝ちきっての優勝は快挙です。

写真5 卓球混合ダブルス決勝 金



資料：朝日新聞 2021.7.27

・バスケットボール

東京五輪の最終日、8日に行われた日米バスケットボール決勝戦は、75:90で「金」には届きませんでしたが、小さな司令塔、町田瑠唯選手の縦横な活躍ぶり、シュートを目指

すカタチには目を見張りました。

写真6 バスケットボール女子決勝 銀



資料：読売新聞 2021.8.9

・ソフトボール

女子ソフトボールの決勝戦で、日本：米国は2：0で快勝。上野由岐子（39）選手が、13年越しの連投でした。

写真7 女子ソフトボール決勝 金



資料：朝日新聞 2021.7.28

・柔道

日本のお家芸柔道は、金 9、男子、女子選手の試合を安心して見ておりました。

写真8 永瀬貴規

柔道 男子81キログラム級 金、混合団体 銀



資料：『東京2020オリンピック 総集編 週刊朝日増刊』 朝日新聞社 2021.8.25

・競泳

大橋悠依、25才で初出場。「自分の可能性信じる」。

写真9 大橋悠依 競泳 女子400m個人メドレー 金、200m個人メドレー 金



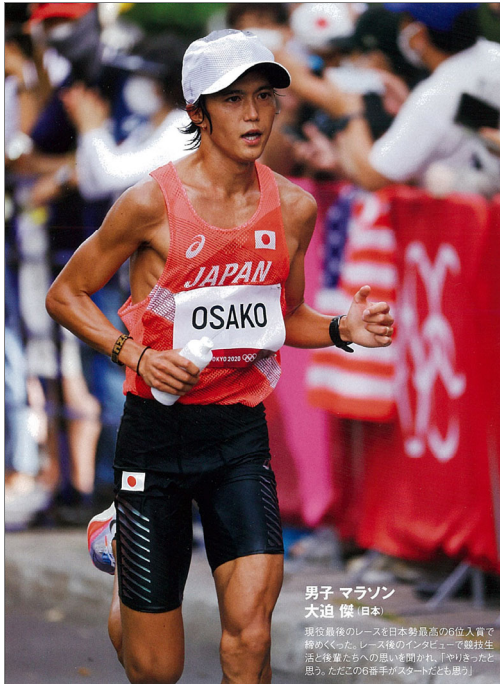
資料：『東京2020オリンピック 総集編 週刊朝日増刊』 朝日新聞社 2021.8.25

・マラソン

札幌市で行われたマラソン男子において、

大迫傑 (30) 選手は、2 時間 10 分 41 秒で 6 位入賞。前の 3 人を眼前にしていたのですが。優勝はエリウド・キプチョゲ (ケニア)。

写真 10 男子マラソン 大迫傑 6 位入賞



男子 マラソン
大迫 傑 (日本)
理直 最後のレースも日本男界初の 6 位入賞で
締めくくった。レース後のインタビューで競技生
活と後輩たちへの思いを問われ、「やりきったか
と思う。ただこの 6 番手がスタートだとも思う」

資料：『東京 2020 オリンピック 総集編 週刊朝日増刊』 朝日新聞社 2021.8.25

今期、東京五輪のメダル獲得数は、金 27 を含む計 58 個。史上最多になりました。日本のお家芸、柔道、レスリングに続いて、新顔のスケートボードがメダルを稼いだことになります。国別のメダル獲得数は、金メダルで米国、中国に続いて第 3 位。メダル総数で 5 位になります。新型コロナ禍の中、東京五輪の自国有利があるにせよ、日本の競技者が充分に力を発揮したことを示した結果に違いありません。

2021 年東京五輪は、8 月 8 日閉幕し、五輪旗が小池百合子東京都知事から次期五輪開催地のアンヌ・イダルゴ パリ市長へと手渡されました。

表 1 各国のメダル獲得表

【東京五輪】 最終獲得数		金	銀	銅	計
米	国	39	41	33	113
中	国	38	32	18	88
日	本	27	14	17	58
英	国	22	21	22	65
R	0	20	28	23	71
豪	州	17	7	22	46
オ	ラ	10	12	14	36
フ	ラ	10	12	11	33
ド	イ	10	11	16	37
イ	タ	10	10	20	40
カ	ナ	7	6	11	24
プ	ラ	7	6	8	21
ニュ	ー	7	6	7	20
キ	ュー	7	3	5	15

資料：毎日新聞 2021.8.9

表 2 日本のメダル獲得数 (競技別)

	金	銀	銅		金	銀	銅
柔道	9	2	1	ゴルフ	0	1	0
	(3)	(1)	(8)		(0)	(0)	(0)
レスリング	5	1	1	サーフィン	0	1	1
	(4)	(3)	(0)		(※)	(※)	(※)
スケボー	3	1	1	クライミング	0	1	1
	(※)	(※)	(※)		(※)	(※)	(※)
体操	2	1	2	陸上	0	1	1
	(2)	(0)	(1)		(0)	(1)	(1)
水泳	2	1	0	バスケ	0	1	0
	(2)	(2)	(5)		(0)	(0)	(0)
ボクシング	1	0	2	自転車	0	1	0
	(0)	(0)	(0)		(0)	(1)	(0)
フェンシング	1	0	0	アーチェリー	0	0	2
	(0)	(0)	(0)		(0)	(0)	(0)
卓球	1	1	2	重量挙げ	0	0	1
	(0)	(1)	(2)		(0)	(0)	(1)
空手	1	1	1	バドミントン	0	0	1
	(※)	(※)	(※)		(1)	(0)	(1)
ソフトボール	1	0	0	カヌー	0	0	0
	(※)	(※)	(※)		(0)	(0)	(1)
野球	1	0	0	テニス	0	0	0
	(※)	(※)	(※)		(0)	(0)	(1)

注：カッコ内は前回のリオ大会。※は実績なし

資料：朝日新聞 2021.8.9

写真 11 東京五輪の

ビクトリーブーケのヒマワリ



資料：朝日新聞 2021.8.8

写真12 次回五輪開催地パリでの
アクロバット飛行



資料：朝日新聞 2021.8.9

新型コロナ感染が拡大を続ける中、猛暑の今夏の東京五輪が大過なく終わったことは何よりでした。参加選手や関係者の新型コロナ感染対策、無観客での競技の進行、運営・大会関係者の大きな努力の賜物に違いありません。それでも選手や大会関係者に400人のコロナ感染者があったと報告されています。

また、今季の五輪は少なからず現在の世界情勢を現しておりました。亡命、難民選手団、人種差別、LGBTQが見受けられました。東京五輪にかかる経費は当初、東京都と国で7,000億円程度と見積もられていたものが、3兆円超となったとのこと。新国立競技場をはじめ、新築の競技施設の利活用についてもどうするのか。今夏、新型コロナ感染の収束とともに、少なからず気懸かりなことであり、大きな宿題が残りました。

2. コロナ禍・デルタ株の爆発的な感染拡大

この7、8月、新型コロナウイルスがデルタ株となり、世界的にも日本においても爆発的に感染の拡大が続いています。世界の新型コロナ禍の広がり、8月18日時点で2億860万人余、死者438万人余を数えています。米国、インドが、感染者3,000万人超、

ブラジルが2,000万人超と恐ろしいほどの数字を記録しています。アジアではインドネシア、フィリピンに続いて、日本が感染者120万人に近づき、死者は15,000人を超えるほどになりました。

現在、インドで見つかった変異株（デルタ株）が世界で拡大を続けており、収束の見通しが立っていない状況にあります。現在（2021年）、世界人口78億7,500万人に対して、コロナ感染者2億人は、39人に1人が感染したことになります。今年1月に感染者が1億人であったのが、半年ほどで倍の2億人になったのです。

表3 世界の新型コロナ感染者

	感染者	死者
米国	3701万7859	62万3322
インド	3228万5857	43万2519
ブラジル	2041万6183	57万0598
フランス	658万1417	11万3116
ロシア	655万1934	16万9169
英国	635万2276	13万1466
トルコ	611万8478	5万3507
アルゼンチン	509万6443	10万9405
コロンビア	487万4169	12万3688
スペイン	473万3602	8万2739
インドネシア	389万2479	12万0013
フィリピン	176万5675	3万0462
韓国	22万8657	2178
中国	10万6602	4848
シンガポール	6万6281	45
日本	118万7058	1万5497
世界計	2億0860万9830 (+73万7789)	438万2461 (+1万0820)

感染者の多い10カ国と、日本と往來の多い国。米ジョンズ・ホプキンス大の集計から。カッコ内は前日比。日本の数字は集計方法が異なるため、1面・社会面と一致しない

資料：朝日新聞 2021.8.18

ワクチンの接種が欧米中心に進んでいる様子ですが、途上国ではワクチンが行き渡っておらず、インドネシアでは連日1,500人以上の死亡が報告されています。

日本においても、インドに由来するデルタ株に置き換わった新型コロナウイルスの感染拡大（第5波）は夏のオリンピックに重なって、1日2万人を超える日もあり、この7、

8月と爆発的なものになりました。

2020年1月(15日)と記録されている日本の新型コロナウイルス感染は、2021年の4月(第4波)に50万人に達しました。これが五輪開催中、1日あたり1万人を突破し、先に50万人に達するのに1年3か月を要したのに、次に50万人増、100万人になるのには4か月しか掛からないことになるのです。

現在、コロナ感染者は113万人余、死者15,000人余という数字が上がっております。

表4 新型コロナウイルス感染者

国内の確認123万1947人(+2万5156)		死者1万5544人(+28)	
感染者	死者	感染者	死者
北海道 51489 (+575)	1434	東京都 24165 (+406)	250
青森 3384 (+79)	32	大阪 140072 (+2443)	2753
岩手 2590 (+46)	48	兵庫 54305 (+1078)	1328
宮城 12382 (+231)	94	奈良 10854 (+173)	134
秋田 1290 (+39)	21	和歌山 3733 (+84)	50
山形 2700 (+40)	47	鳥取 1178 (+14)	3
福島 7668 (+96)	164	根 1027 (+28)	2
茨城 17288 (+296)	177	岡山 10841 (+254)	127
栃木 11054 (+273)	98	山梨 14804 (+362)	180
群馬 11965 (+317)	156	山崎 4114 (+119)	80
埼玉 83012 (+2170)	866	徳島 2086 (+52)	63
千葉 69994 (+1410)	777	香川 3300 (+111)	34
東京 297391 (+5534)	2358	愛媛 3929 (+102)	77
神奈川 119540 (+2340)	1049	高知 2519 (+80)	31
新潟 5536 (+132)	54	福岡 53885 (+1134)	555
富山 3382 (+147)	38	佐賀 3399 (+144)	27
石川 6847 (+83)	121	長崎 4476 (+114)	69
福井 2125 (+31)	36	熊本 9862 (+267)	121
山梨 3599 (+84)	22	大分 5020 (+198)	65
長野 6691 (+158)	94	宮崎 4169 (+121)	28
岐阜 11793 (+322)	191	鹿児島 6142 (+251)	42
静岡 16295 (+677)	160	沖縄 35468 (+768)	248
愛知 64356 (+1221)	1020	その他(空港検疫など)	
三重 7980 (+311)	118	3888人(+9)	死者7人
滋賀 8360 (+232)	95		
入院・療養中 16万8863人(+6987) うち重症 1765人(+49)			
退院・療養解除 101万2526人(+1万4572) (19日午前0時現在)			
総数 123万2670人(+2万5156) 死者 1万5557人(+28)			
総数にはダイヤモンド・プリンセス乗船者を含む。白抜きは「緊急事態宣言」、網掛けは「まん延防止等重点措置」の地域。カッコ内は前日最終集計との比較。都道府県と厚労省の発表は一部重複する。再帰性は延べ人数で計上。			
■ワクチン接種(18日、医療従事者は略。総接種数は年齢不明含む)			
1回目		2回目	
総接種数	5408万5327(42.5%)	4160万8048(32.7%)	
高齢者	3146万2428(88.7%)	3019万6163(85.1%)	
64歳以下	2240万5152(24.4%)	1129万0813(12.3%)	

資料：朝日新聞 2021.08.19

医療現場の逼迫も報じられています。政府はここに来て緊急事態宣言の地域を13都府県に拡大。まん延防止等重点措置の地域を16道県に拡大しました。そして8月20日までとされていた期間を、9月12日まで延期しました。さて、日本の新型コロナ感染はどうなるのか。如何に収束するのか。

高齢者は2回のワクチン接種を概ね終えましたが、国民全体にこれらこれが及ぶのはまだ先とのこと。市民は外出自粛、マスク

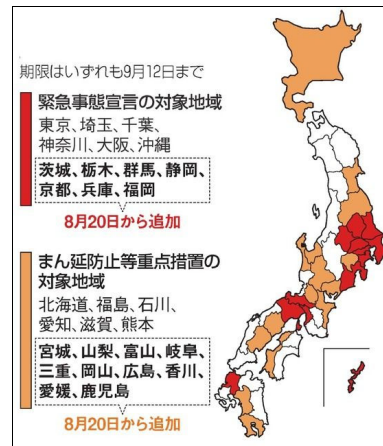
着用、会食は4人まで、三密は避ける、仕事はテレワークでと、我慢の生活、異常な事態が続きます。

緊急事態宣言下、飲食、観光、イベント、旅行分野の休業、半休業により、多くの人が職を失い、いまだ再就職が難しい状態が続いています。

日本の公衆衛生、医療体制の再構築と、政治、政府の適切な対応が強く求められます。

図1 緊急事態宣言と

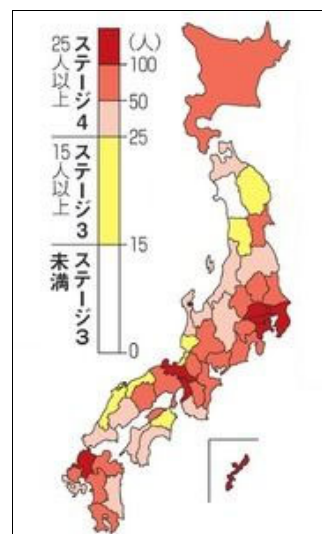
まん延防止等重点措置の対象地域



資料：朝日新聞 2021.8.18

図2 人口10万人当たり1週間の

新規感染者数



資料：朝日新聞 2021.8.19

3. 戦後76年、戦争と平和

例年、日本の夏は1945年の第二次世界大戦（太平洋戦争）終結の記憶が甦ります。米軍による原子爆弾の投下、広島（8月6日）、長崎（8月9日）、沖縄での地上戦、そして日本の終戦（8月15日）と続きます。

今年の8月は日本の敗戦から76年になります。

8月6日広島市の平和記念公園において、新型コロナ禍で参列者は制限されておりましたが、60を超える外国からの参列者も出席して式典が行われました。この1月発効した国際条約「核兵器禁止条約」を受けての平和式典となりました。松井一實広島市長は平和宣言で日本が直ちに条約に参加することを求めておりました。菅義偉首相は昨年の就任以来、初参列でしたが、自身の挨拶ではこれには触れずじまいでした。

写真13 広島平和記念公園

原爆死没者慰霊碑の前で手を合わせる人たち



資料：朝日新聞 2021.8.6

長崎市でも、8月9日、平和公園において長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が行われました。原爆投下時刻の午前11時2分「長崎の鐘」に合わせて黙祷を捧げる様子がテレビで映されておりました。新型コロナが広がるなか、参加者は制限されていましたが、菅義偉

首相をはじめ、外国からも出席しての式典でした。

写真14 平和祈念式典

献花に向かう参列者たち



資料：毎日新聞 2021.8.10

「人類が核兵器の惨禍を体験してから76年目の今年、私たちは核兵器をめぐる新しい地平に立っています。今年1月、人類史上初めて“全面的に核兵器は違法”と明記した国際法、核兵器禁止条約が発効したのです。」「日本政府と国会議員に求めます。・・・1日も早く核兵器禁止条約に署名し、批准することを求めます。」長崎市長 田上富久 2021（令和3）年8月9日 長崎平和宣言抜粋

菅義偉首相はあいさつで「核兵器のない世界の実現に向け、国際社会の努力を一步ずつ着実に進めていくことは我が国の変わらぬ使命」と述べておりましたが。

終戦記念日、2021年8月15日、恒例となっている政府主催の全国戦没者追悼式典が、東京千代田区の日本武道館で行われました。爆発的な新型コロナ拡大の中、参列者は各都道府県から1名程度、185人とのことでした。会場では正午の時報に合わせて参列者の1分間の黙祷、続いて菅義偉首相の簡単な不戦の誓いがありました。そして天皇陛下の「おことば」がありました。

天皇陛下のおことば（全文）

本日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来76年、人々のたゆみない努力により、今日の我が国の平和と繁栄が築き上げられました。多くの苦難に満ちた国民の歩みを思うとき、誠に感慨深いものがあります。

私たちは今、新型コロナウイルス感染症の厳しい感染状況による新たな試練に直面していますが、私たち皆がなお一層心をひとつにし、力を合わせてこの困難を乗り越え、今後とも、人々の幸せと平和を希求し続けていくことを心から願います。

ここに、戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ、過去を顧み、深い反省の上に立って、再び戦争の惨禍が繰り返されぬことを切に願い、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、全国民と共に、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。

戦後76年、太平洋戦争を知らない世代が圧倒的に多くなりました。新型コロナ禍の中、この8月の終戦記念日も一つの小さな行事のようにも見えてしまいます。

戦後76年を迎え、薄れていくばかりの先の戦争記憶を受け継いでいくことは、日本全体の課題に違いありません。この課題を受けて「戦争で亡くなった民間人も含めて、戦没者を追悼し、平和を祈念する無宗教の追悼空間、内外に開かれた国立の平和公園をつくることは必要であり、意義深いことである」と、2019年の筆者のブログ「21世紀の日本のかたち（117）」に記しましたが、新型コロナ禍が治ったなら再び広く案を募って構想を深めたいものです。不戦を誓い、平和を願う「平和公

園-国立追悼空間」の必要性を改めて思います。

写真15 全国戦没者追悼式で
黙とうされる天皇、皇后両陛下



資料：東京新聞 2021.8.15

4. この夏の豪雨、熱波

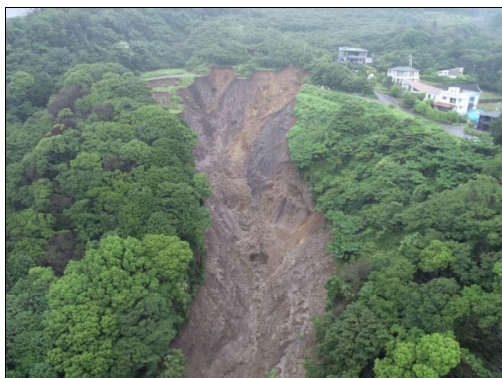
この夏、7、8月も観測史上最大といわれる記録的大雨、豪雨が続き、土石流の発生、土砂崩れ、土砂災害の爪痕を日本の各地（九州、中国、中部、関東、甲信越の地域）に残しました。

静岡県熱海市では、7月3日の豪雨により逢初川に土石流が発生し、伊豆山からの土石流が川筋の家屋を破壊し、死者22人、行方不明者5人、被害棟数131棟と報じられています。ただ、土石流の発生地点の伊豆山の過剰盛土には問題が指摘されており、土木工事と災害との関係について目配りすべき事例に違いありません。

早速、静岡県は逢初川土石流災害に対して、応急安全対策及び仮復旧のための対策を検討

する委員会「逢初川土石流災害対策検討委員会」を立ち上げ、7月7日に第1回会議が行われました。

写真16 逢初川源頭部の崩落状況



資料：逢初川土石流災害対策検討委員会

写真17 大雨の影響で土石流が発生した現場



資料：朝日新聞 2021.7.4

8月に入って、16、17日と、西日本から東日本まで雨雲が覆って、日本各地に豪雨を受け、土砂災害が、18都府県に67件、死亡6人、不明4人が報告されました。毎年この時期には集中豪雨が発生しております。昨年の

熊本豪雨、3年前の岡山・広島豪雨。4年前には九州北部豪雨がありました。気候変動の影響があるとの指摘が出始めております。

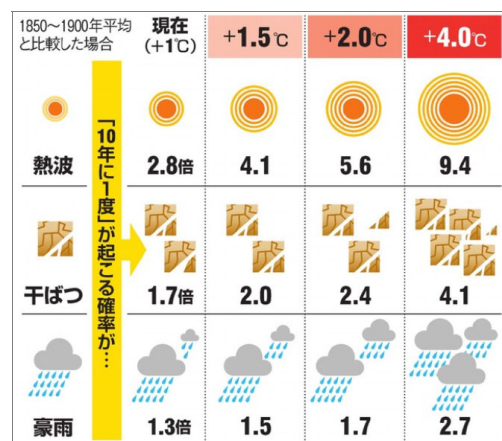
この夏の日本は、豪雨を挟んで40℃を超える地域も出る暑い日が続きました。地球的にはギリシャではこの夏、43℃を記録する深刻な熱波で山火事に襲われる出来事が報告されております。そして南部シチリアでは48.8℃を記録しています。

世界の温暖化による影響について研究し、その対策について発言を続けているIPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）が、8月9日、温暖化で増える極端な気象について一つのデータを示しました。

産業革命の時期に比べ、地球の気温は現在1℃上昇しており、これが+1.5℃、+2.0℃、+4.0℃での地球の干ばつ、豪雨を示す予測の図表を見ると、豪雨や熱波の昨今の日本の夏、異常気象について納得がいきます。

ただ、この事態に日本はどう対処するかが、今後の21世紀の日本の有り様に突き付けられた重い課題に違いありません。

図4 温暖化で増える極端な気象



資料：朝日新聞 2021.8.15

2021.08.26